

# 七条中学校だより5月号

京都市立七条中学校

令和7年4月30日

発行：校長 林 秀雄

## 問うことは深めること

みなさん「シンギュラリティ」という言葉を知っていますか？「シンギュラリティ」とは、「人間の脳と同じレベルのAI（人工知能）が誕生する時点」を言います。2045年に到来すると予想している発明家もいます。生成AIが、質問に完璧に答えてくれる時代が目の前に来ているということです。

ここでみなさん問題です。

Q 「二人の社長が、質問に完璧に答えてくれる人工知能を手に入れました。うまく使えば、会社をさらに大きくすることができます。ところが、一人は成功し、一人は失敗してしまいました。では、二人の社長の差は何だと思いますか？」

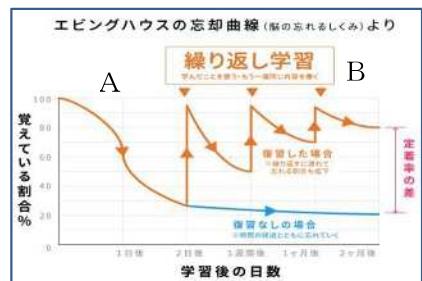
A 答えは、「問う力」です。「AIにどのような問い合わせをするか」「どんな情報をAIから引き出そうとするか」で、返ってくる結果は違ってきます。そして、返ってきた結果に対して、さらにどのような質問をするかで、両者に大きな差ができます。つまり、これからの時代は、自分のもっている知識を活用し、「質問をする力」「問い合わせの能力」が必要とされているのです。「問う力」が大切なのは、AIに対してだけではありません。普段の学習活動も同じことです。問う力を身につけるためには、いくつかのポイントがあります。以下のことを意識して、日々の学びに取り入れてみてはどうでしょう？

- 好奇心を持つ まずは、好奇心を持つことが大切です。何か新しいことを学ぶときに「なぜ？」と思う気持ちを大切にしましょう。例えば、自然の中で見つけた不思議な現象や、授業で習った新しい知識について、もっと知りたいと思うことがスタートです。
- 観察力を養う 周りの物事をよく観察することで、疑問が生まれやすくなります。例えば、植物の成長を観察して「なぜこの植物は日陰でも育つか？」と疑問に思うことができます。
- 具体的な質問をする 疑問を持ったら、具体的な質問をする練習をしましょう。例えば、「どうして？」や「なぜ？」だけでなく、「この現象が起こる理由は何ですか？」といった具体的な質問を考えることが大切です。
- 情報を整理する 得た情報を整理する力も重要です。ノートにまとめたり、図や表を使って視覚的に整理することで、理解が深まります。例えば、歴史の出来事を年表にまとめると、因果関係がわかりやすくなります。
- 他者と意見交換する 友達や先生と意見交換することで、新しい視点を得ることができます。自分の疑問を他の人に話すことで、さらに深い理解が得られることがあります。
- 継続的に学ぶ姿勢 最後に、継続的に学ぶ姿勢を持つことが大切です。疑問を持ち続け、それを解決するために努力することで、問う力はどんどん伸びていきます。

皆さんが積極的に質問し、学びを深めていくことを応援しています！

## 復習（家庭学習）は大切に

昨年の学校だよりも掲載しましたが、新入生も入ってきたのでもう一度皆さんに紹介します。皆さんの中には、「家庭学習で何を勉強したらいいのか分からない」「自主学習をやっているけれど、このやり方でいいのか？」……そんな悩みを抱えている人も多いのではないでしょうか。そこで、「効果的な学習」について、少し触れたいと思います。右の図は、学習したことを時間が経つにつれ、どれくらい記憶しているかを曲線で表したもので、有名な「エビングハウスの忘却曲線」と呼ばれているもので、学習した後に何もしないと、1日後には67%、2日後には72%、1か月後には79%忘れてしまうということが分かれています。つまり、その日のうちに復習することが効率的なのです。さらに、Bはカナダのウォータールー大学の研究結果から分かった曲線ですが、学習した後の24時間以内に10分間復習すると、記憶率は100%に戻ります。そして、次回の復習は1週間以内にたった5分間行うだけで記憶はよみがえり、次は1か月以内に2~4分復習すればまた記憶は復活するそうです。つまり、復習を1日以内、1週間以内、1か月以内に繰り返し短時間行えば、定期テストのときにも覚えていられるということです。テスト前にまとめて勉強しようとしたら、忘れていることが多く、時間ばかり使ってしまい、効率が悪くなってしまいます。



### 学習内容

学習内容をHPに掲載しました。これからどんなことを学習するか見通しをもって学習しましょう。

1年

2年

3年



### 京都はぐくみ憲章

社会のあらゆる場で実践し、行動の輪を広げましょう！



令和7年度

# 5月行事予定

## 京都市立七条中学校

学校教育目的 豊かな人間性と未来社会の中によりよく生きていける力の育成  
学校教育目標 「自律 探究 貢献」